

1 . 件名：福島第一原子力発電所 1 号機オペレーティングフロアの天井クレーン及び燃料取扱機の落下対策に係る面談

2 . 日時：令和元年 1 2 月 2 4 日（火） 1 3 時 3 5 分～ 1 4 時 3 5 分

3 . 場所：原子力規制庁 9 階会議室

4 . 出席者

原子力規制庁

原子力規制部 東京電力福島第一原子力発電所事故対策室

知見主任安全審査官、田上係員、高木技術参与

東京電力ホールディングス株式会社

福島第一廃炉推進カンパニー プロジェクト計画部 担当 3 名

5 . 要旨

東京電力ホールディングス株式会社から、福島第一原子力発電所 1 号機オペレーティングフロア（以下「オペフロ」という。）の天井クレーン及び燃料取扱機（以下「FHM」という。）の落下対策について、資料に基づき説明があった。

➤ 天井クレーン及び FHM の落下対策の目的

✓ 今後、オペフロ上の崩落屋根を撤去する際に、天井クレーン及び FHM が位置ずれや荷重バランスの変動により落下し、ダスト飛散、燃料等の健全性に影響を与える可能性が考えられるため、落下対策を講じる

➤ 天井クレーン及び FHM の落下対策の概要

✓ 天井クレーンについては、西側作業床から北側ガーダ V 字変形部の下部に支保材を設置する

✓ FHM については、南側作業床から損傷程度の大きい FHM 東側サドル部近傍の FHM 下部に支保梁を設置する

➤ 天井クレーンの支保材及び FHM の支保梁の設置方法

原子力規制庁は、上記の説明内容を確認した。

6 . その他

・ 資料：

➤ 1 号機 天井クレーン及び燃料取扱機の落下対策の計画について